

湘南慶育病院 宮崎 健司(事務部顧問)

| | |
|---------|---|
| 功 績 | 事務部の業務の隙間をすべて埋めることにより、スムーズな病院運営に貢献した功績。 |
| 推 薦 者 | マネージングディレクター 間山文博 |
| 推 薦 理 由 | 開院以来、病院の様々な仕組みづくりに貢献してくれた、その労を労いたい。 |

内 容

宮崎顧問は1日の例外もなく、事務部の中で誰よりも早く入社し、業務に取り組み、当院ならではの特殊な業務に真摯に向き合ってくれた。

職員寮の管理においては・社宅入居後、隣接するオーナー親族の方と日頃から良好なコミュニケーションをとり、ご不満をヒアリングして迅速に関連部署へフィードバックして、クレームを未然に防いでいた。

倫理審査委員会の事務局としては、委員会の仕組みを一から構築し、外部委員との調整、研究者との対話から資料づくりまですべて担い、どこに出してもおかしくない権威あるものにしてくれた。

患者職員送迎においては運転手の管理はもとより、送迎ルートの開拓、職員送迎、白内障患者送迎の管理をしてくれた。

またヘルスサイエンスラボ研究所運営委員会などの委員会を開院より組織し、当院内の研究や慶應義塾大学との研究の基盤作りをし、当院の理念にもある大学との連携による最先端の研究の足がかりに寄与した。

最近では、新型コロナウイルスの発生当初から、行政への定例報告、コロナ感染拡大防止等支援事業および慰労金交付事業の申請等の窓口となり、慰労金、補助金を満額獲得することができた。

また今回の健育祭においては、事務局の責任者として、慶應義塾大学SFC・遠藤市民センター・当院との3者の橋渡し役として祭りを成功に導いてくれた。

その宮崎顧問より先月、体調が思わしくないので退職したい旨相談を受けた。

開院以来3年間の宮崎顧問の貢献に対し、ぜひ理事長賞の表彰をして送り出したいと思います。